

科目名 (英語表記)	文章表現法 ( Japanese Writing )						ポートフォリオ
学年・専攻	1年・全専攻		単位・期間	学修単位 2単位・前期 週2時間 (自己学習時間60時間)			<学生が記入する上での注意事項>
担当教員	関 幹雄	連絡先	管理棟2階・関研究室	オフィスパワー	水曜日 午後4時30分～		【授業計画の説明】 枠内に○か×かを記入すること。
【授業目的】 社会の現場で自己の考えを効果的に伝えるために、文章表現の技術を養成する。 1. 論理的な文章を書くための総合的な知識を得る。 2. 自分の文章を積極的に点検する意識を持つ。 3. 円滑なコミュニケーションを図るため、実用的な文章の形式を理解する。				【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。			
【履修上の注意】 1. 課題の提出期限を守ること。 2. 分からない語彙・事項については、自発的に情報収集をすること。 3. 本講義では、教員による文章の添削を積極的に行う。了解したうえで履修すること。				【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。			
【事前に行う準備学習や自己学習】 この講義は学修単位であるため、事前・事後学習として課題を課す。次の「2.」「3.」は「課題レポート」として評価する。 1. 事前学習:「自己学習資料」の指定された箇所を通読しておくこと。 2. 事後学習:「自己学習資料」と「講義内容」を参考に課題に応じた文章を作成し提出すること。 3. 事後学習:添削・返却された文章に対して「チェックシート」を用いてフィードバックを加えること。				【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。			
【達成目標】 1. 論理的な文章を書くための基本的な知識を身に付け、相手に伝わる文章を作成することができる。 2. 自分の文章を客観的に評価する力を養い、文章表現の向上に繋げることができる。 3. 社会の現場で必要となる実用文を作成することができる。				ルーブリック評価の【自己評価】では、到達したレベルに○をすること。  <教員が記入する上での注意事項> 教員は、◎が付いているところだけを記入すること。			
<b>学 習 到 達 目 標</b>							
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安 ( A )	標準的な到達レベルの目安 ( B )	未到達レベルの目安 ( C )		ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。		
評価到達目標項目1	文章作成の基礎的事項を十分に理解し、それを実践・応用することができる。	文章作成の基礎的事項を確認し、それを踏まえた文章を作成する努力をすることができる。	文章作成の基礎的事項を少しは理解することができる。		【自己評価】  A ・ B ・ C		
評価到達目標項目2	自分の文章を点検し、客観的な評価を行うことができる。他人の意見を踏まえたうえで、自分の文章を向上させることができる。	自分の文章を積極的に点検する意識を持つことができる。	自分の文章を点検する意義を少しは理解することができる。		【自己評価】  A ・ B ・ C		
評価到達目標項目3	目的に応じた実用文を適切に作成することができる。	目的に応じた実用文を適切に作成する努力をすることができる。	目的に応じた実用文を適切に作成する重要性を意識することができる。		【自己評価】  A ・ B ・ C		
<b>到 達 度 評 価 ( % )</b>							
評価方法	中間レポート	小テスト	課題レポート	口頭発表	成果品実技	その他	合計
指標と評価割合							
総合評価割合	30		70				100
知識の基本的な理解	10		30				40
思考・推論・創造への適応力	10		20				30
汎用的技能	10		20				30
態度・志向性(人間力)							
総合的な学習経験と創造的思考力							
成績の評価方法について ・中間試験の代替としての「中間レポート」30%、自己学習の成果を測る「課題レポート」70%の割合で評価する。							
評価基準について ・事前に提示する「条件」の達成率に応じて総合的に評価する。 ・60点以上を合格とする。							
【教科書】 授業内容により、その都度資料を配布する。				【JABEE基準との対応】			
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)				(f)			
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)				(C)			

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
授業計画の説明 文章作成ガイダンス	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明	2	
①「全体の構成」	文章全体の構成についての理解を深める。	2	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
	パラグラフライティングについての理解を深める。	4	
	アウトラインを構想し、文章作成に繋げる。	2	
②「文章の点検」	自己評価のポイントについて理解する。	2	
③「実用文の習熟」	エントリーシートの文面を作成する。	4	
前期中間試験	レポートで実施	1	【試験の結果】 試験の点数( )
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1	
④「1文の組み立て」についての理解・演習	一文の構造についての理解を深める。	3	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
	誤解されない文章を作成する。	3	
⑤「実用文の習熟」	エントリーシートの文面を作成する。	3	
⑥「実用文の習熟」	目的に応じてメールの文面を作成する。	2	
	目的に応じて手紙などの文章を作成する。	2	
前期末試験	(実施しない)		
授業内容のまとめ	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1	
		合計時間	30
			【総合達成度】 総合評価の点数( )
【備考】			【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)